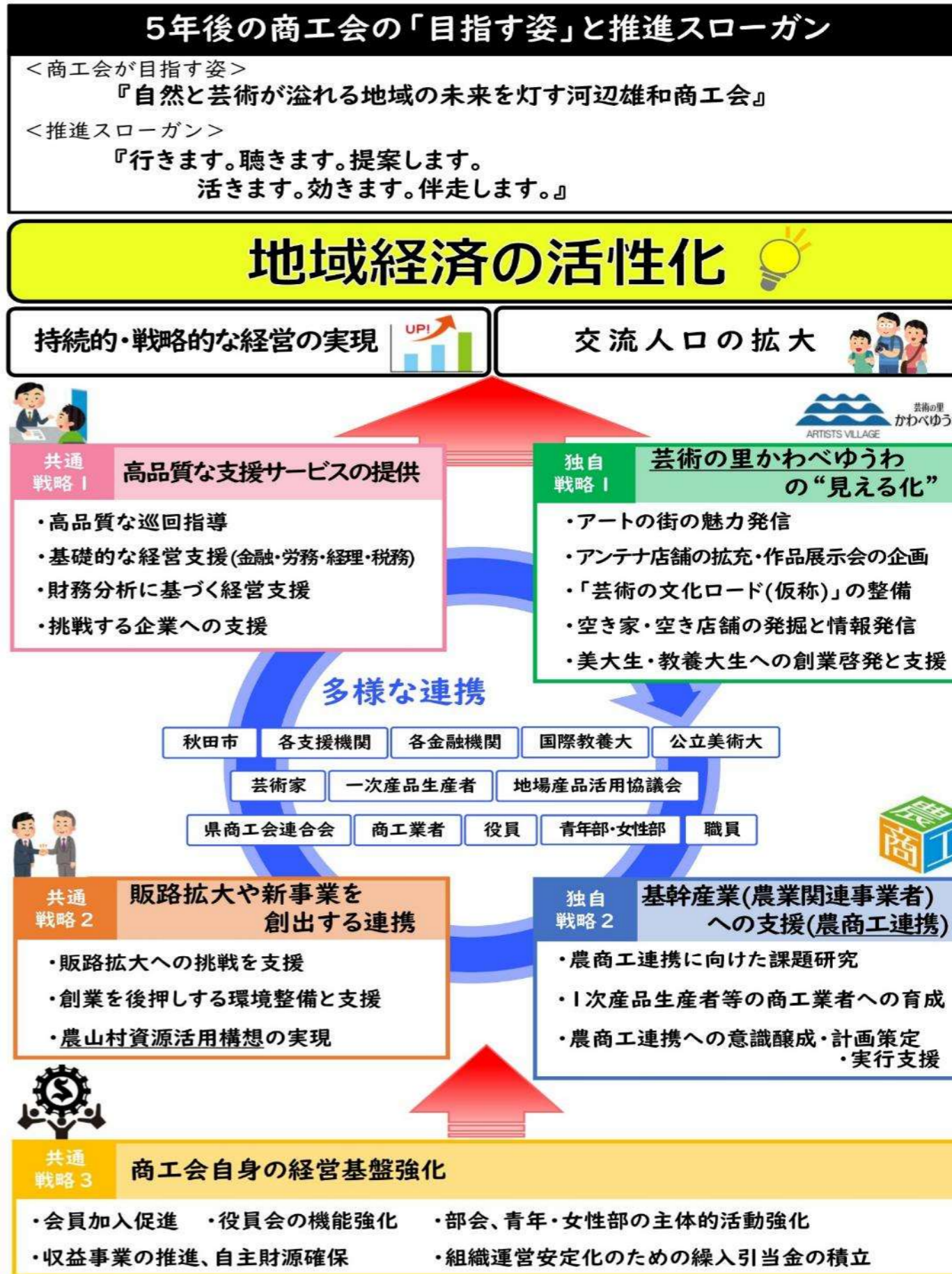


## 第2期 河辺雄和商工会アクションプログラムの概要 (実施期間: 令和4年度~8年度)

- <アクションプログラムの推進に当たっての基本方針>
- (1) 基礎的な経営支援から提案型の経営支援まで「高品質の支援サービス」の提供
  - (2) 地域の経営資源に焦点を当てた「地域経済の活性化」の推進
  - (3) 事業面のみならず将来を見据えた「組織・財政面」へもしっかり向き合う
  - (4) 不足する経営資源は地域内外からの「連携」により調達・補完し課題解決
  - (5) “次に繋がる振り返り” “成果の見える化” “商工会の存在感の発信” をセットで徹底

全県商工会共通戦略	個社支援	<b>共通戦略1</b> <b>革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進</b>
		<b>施策1</b> 企業の挑戦、経営発達を支え続ける戦略的支援の推進 取組1 経営発達支援事業の進捗管理 取組2 挑戦する企業の革新的な取組の促進 <b>施策2</b> きめ細かな基礎的経営支援を基盤とした経営発達支援への展開 取組1 解決提案・実行支援型巡回の徹底 取組2 財務分析に基づく経営支援の強化
多様な連携	組織運営強化	<b>共通戦略2</b> <b>新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進</b>
		<b>施策3</b> ネットワーク強化による販路拡大と創業支援の推進 取組1 販路拡大に挑戦する企業への支援 取組2 移住者及び若者等の起業しやすい環境整備 <b>施策4</b> 地域の強みを活かした「秋田市農山村資源活用基本構想」の具現化 取組1 農山村資源活用基本構想への積極関与による着実な事業推進 取組2 「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクトとの連携による事業推進
河辺雄和商工会独自戦略	交流人口の拡大	<b>独自戦略1</b> <b>「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクトの理念の実現</b>
		<b>施策7</b> アートの魅力を活用した交流人口の拡大への取組 取組1 芸術の里かわべゆうわ「アートの魅力発信事業」(情報発信) 取組2 芸術家のアトリエを観光資源として活用するための「環境整備」の充実 <b>施策8</b> 芸術家や事業者などの誘致を目指す移住促進 取組1 空き家・空き店舗情報の発掘の仕組み化による情報収集とデータベースの最適化 取組2 空き家・空き店舗情報の発信 取組3 秋田公立美術大生や国際教養大生への創業啓発と創業支援
河辺雄和商工会独自戦略	基幹産業の強化	<b>独自戦略2</b> <b>地域の基幹産業を担う農業関連事業者への充実した支援(農商工連携)</b>
		<b>施策9</b> 農業関連事業者の持続的発展を促すための新たな組織づくりの促進 取組1 「農商工連携研究会(仮称)」の創設計画の策定 取組2 農業関連事業者への育成支援 <b>施策10</b> 1次産業(農業者等)と既存事業者とのマッチング支援によるビジネスチャンス拡大 取組1 地域特性を活かした産業間連携(農商工連携等)への意識醸成促進 取組2 農商工連携などへの計画策定から実施支援



共通戦略 1	革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進
--------	---------------------

施策 1	企業の挑戦、経営発達を支え続ける戦略的支援の推進
------	--------------------------

<b>1 令和7年度 施策の方向性</b>	
新たに策定した「経営発達支援計画」に沿って企業の成長ステージや経営環境の変化に応じた伴走型支援を基軸に、新たな挑戦と持続的発展を実現するための戦略的な支援体制を強化し、これまで以上に具体的な成果を創出し、その支援成果の見える化と情報発信に努める。	

<b>2 事業概要</b>	※ ( ) は活動目標値
---------------	--------------

<b>(1) 経営発達支援計画推進事業</b>	
外部環境と内部環境を踏まえた事業計画の策定から新たな需要開拓に至る支援を通じ、企業の経営発達や持続的発展への挑戦を戦略的に支え続ける「経営発達支援計画」を推進した。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■活動内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・伴走型補助金を活用した経営発達支援計画の具現化事業の実施</li> <li>・事業計画の策定支援を通じた補助金申請支援の実施 ほか</li> </ul> </li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■達成状況</li> </ul>	※アンダーライン：全県共通目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業景況調査の実施 : 4回 (4回)</li> <li>・課題抽出調査の実施 : 1回 (1回)</li> <li>・経営分析の実施 : 67件 (60件)</li> <li>・事業計画策定支援 : 32件 (39件)</li> <li>・商談会出展支援、DXを活用した販路開拓支援 : 15社、売上：200万円 (出展支援4社、DX活用販路開拓9社)</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全県共通組織目標                             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 革新的取組実行支援 : 6件 (3件)</li> <li>② 持続化補助金申請支援 : 10件 (3件)</li> <li>③ 事業承継の実現支援 : 3社 (3社)</li> <li>④ 創業実現支援 : 7件 (3件)</li> </ul> </li> </ul>	
<b>(2) 事業継続力強化支援事業 (リスクマネジメント力支援強化事業)</b>	
万が一の災害発生から迅速な事業再開を可能にするため、小規模事業者のBCP (事業継続計画) 策定を推進したほか、商工会館のBCPについても見直す等万が一に備えた体制整備を図った。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■活動内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメント強化支援の実施</li> <li>・商工会自身のBCPの実効性の向上対策</li> </ul> </li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■達成状況                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者BCP策定支援 : 16件 (18件)</li> <li>・商工会自身のBCPの実効性の向上対策 : 実施</li> </ul> </li> </ul>	

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 経営発達支援計画の達成率 経営発達支援計画の目標設定数 (38項目) に対する達成数の割合 (100%)	86.8% (80%)	93.1% (90%)	91.9% (100%)	72.7% (100%)	(100%)
達成状況	達成	達成	未達成	未達成	
(2) 経営発達支援事業者数 経営指導員 20社×3名 経営支援員 10社×3名	88社 (81社)	80社 (82社)	78社 (84社)	80社 (86社)	(90社)
達成状況	達成	未達成	未達成	未達成	

<b>4 施策目標に関する検証</b>
---------------------

<b>(1) 経営発達支援計画の達成率</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営発達支援計画推進事業 県外の大型商談会への出展において、他商工会との連携したことでより効果的な事業実施をすることができた。特に「成約件数」「売上高」を達成することができ支援企業の売上拡大に寄与することができた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営発達支援計画推進事業 事業全体の推進管理が不十分であり、経営発達計画の目標を達成することができなかった。特に承継計画及び6次産業計画策定に取り組む事業者の掘り起こしが十分にできなかった。</li> </ul>
<b>(2) 経営発達支援事業者数</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営発達支援計画推進事業 商談会出展及び補助金、金融施策の活用等に伴う経営分析・計画策定の支援企業の掘り起こしについて計画通りに実施することができ、一定の効果を創出することができた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続力強化支援事業 (リスクマネジメント力支援強化事業) 巡回や個別相談会等の実施によりBCPの策定や補助施策の活用等の支援について取り組むことができたが、地域全体へのその必要性に関する周知は十分にできなかった。</li> </ul>

<b>5 次年度への改善点</b>
-------------------

<b>(1) 経営発達支援計画推進事業</b>	
計画策定後の正確な成果を確認するため、複数年にわたる集中支援先の選定と伴走支援に必要な事務局体制を構築する必要がある。	
<b>(2) 事業継続力強化支援事業</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCPの策定について、継続的な啓蒙活動と共に各種施策の活用提案について各種媒体を活用した情報発信を通じて事業者が取り組みやすい環境を整備する。</li> <li>・事業継続力強化支援計画の確実な実施に向けて、関係機関との連携を一層強化する必要がある。</li> </ul>	

共通戦略1	革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進
-------	---------------------

施策2	きめ細かな基礎的経営支援を基盤とした経営発達支援への展開
-----	------------------------------

1 令和7年度 施策の方向性	
商工会が従来から強みとしている「基礎的な経営支援」にもしっかりと向き合い、企業経営で不足する経営資源の補完支援のほか、経営基盤強化に資するきめの細かい支援を通じて、会員事業者が持続的に経営を行っていただけるよう「高品質な支援サービス」を提供する。ここでの支援成果を踏まえて、更なる高みを目指す「経営発達支援」の展開へと導く。	

2 事業概要	
※ ( ) は活動目標値	
<b>(1) 経営改善普及事業</b>	
巡回や窓口相談を通じて、金融、税務、経理、労働等の基礎的経営支援のサービス提供を通じて、目まぐるしく変化する経営環境下でも持続的な経営を行えるよう支援した。	
<b>■達成状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的で戦略的な巡回の実施 : 全会員巡回 1 回</li> <li>・ 企業の人手不足対策事業 (全県共通組織目標)                         <ul style="list-style-type: none"> <li>① 人手不足対策相談窓口の開設</li> <li>② 人手不足対策推進リーダーの設置</li> <li>③ 人手不足対策推進リーダー会議への出席</li> <li>④ 企業の人手不足の現状・支援ニーズ調査の実施 (全会員) : 352 社</li> </ul> </li> <li>・ 講習会等の開催 : 集団 4 回・個別 25 回</li> <li>・ 金融制度の斡旋 (マル経事故率の改善含む)                         <ul style="list-style-type: none"> <li>マル経制度 4,015 万円・9 件</li> <li>公庫創業融資 750 万円・1 件</li> <li>県制度融資 1,950 万円・1 件</li> <li>市中小企業資金 300 万円・1 件</li> <li>マル経事故率 7.96 ポイント悪化</li> </ul> </li> <li>・ 小規模事業施策の普及 : 商工会報 5 回 6 月、10 月、1 月・臨時号 (2 回)</li> <li>・ 小規模事業者DX推進事業                         <ul style="list-style-type: none"> <li>① 無料ホームページ「Goope」導入支援 : 0 件</li> <li>② 「buyer's room」への出品支援 : 0 品</li> <li>③ キャッシュレス導入「タイムズペイ」導入支援 : 0 件</li> </ul> </li> </ul>
<b>(2) 新たな記帳指導推進事業</b>	
日々の記帳から得られる財務データを活用・分析し、経営計画の進捗管理につながる指導を強化した。	
<b>■活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記帳機械化事業で得られた財務データに基づく分析・助言</li> </ul>
<b>■達成状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記帳機械化システム「商工会クラウド・MA1」新規導入支援 : 2 件 (3 件)</li> <li>・ モニタリングサービス提供 : 120 回 (契約先×年2回)</li> </ul>

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 経営課題への解決指導件数 経営指導員 1 人当たりの経営課題解決指導の件数	404 件 (260 件)	391 件 (280 件)	331 件 (300 件)	312 件 (320 件)	(350 件)
達成状況	達成	達成	達成	未達成	
(2) 新会計システム活用数 財務データの蓄積により経営の進捗管理が実現する事業者数	52 件 (55 件)	57 件 (60 件)	59 件 (65 件)	57 件 (70 件)	(75 件)
達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	

4 施策目標に関する検証	
<b>(1) 経営課題への解決指導件数</b>	
≪効果があった事業及びその内容≫	何が良かったのか ・ 経営改善普及事業 全会員巡回が定着し、全職員が巡回することで相談案件の掘り起こしができた。また、チーム制により支援員・指導員の連携によって課題の共有及び解決への連携支援が行われた。
≪検討の余地がある事業及びその内容≫	何が悪かったのか ・ 経営改善普及事業 日々の巡回時における導入提案の他、集団講習会においてもDX推進提案を行ったが、ホームページ導入やキャッシュレス導入等の件数に結び付かなかった。
<b>(2) 新会計システム活用数</b>	
≪効果があった事業及びその内容≫	何が良かったのか ・ 新たな記帳指導推進事業 事業計画策定支援を実施した事業所や創業者をターゲットに「商工会クラウドMA1」の導入推進を実施し、2 件の新規導入実績となった。
≪検討の余地がある事業及びその内容≫	何が悪かったのか ・ 新たな記帳指導推進事業 モニタリングサービス提供が上・下半期で偏りがあった。

5 次年度への改善点	
<b>(1) 経営改善普及事業</b>	
引き続き積極的な巡回による施策普及・相談案件の掘り起こしに努めるとともに、課題解決の緊急性や当事者認識へのアプローチ強化を図ることで、DX活用事業者数の増加を図る。	
<b>(2) 新たな記帳指導推進事業</b>	
創業者を中心に経営の基礎を習得できるよう、記帳システムの活用を積極的に提案し、新規導入数の増加を図り、将来的に自計化を実現できる事業者への成長を後押しします。MA1 導入事業者のこまめな記帳を指導し、定期的なモニタリングサービス提供に努めることで、経営者の数値面での経営把握に役立てることで、経営発達へつなげていく。	

共通戦略2	新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進
-------	---------------------

施策3	ネットワーク強化による販路拡大と創業支援の推進
-----	-------------------------

1 令和7年度 施策の方向性
<p>新たな販路を開拓するための県内外の商談会等への出展支援に加えて、確実な成果を創出するための需要調査を実施し、県内商工会や関係団体と連携して商品・サービス力の向上に向けた取り組みを推進する。</p> <p>また、新たな担い手育成と事業成長を促進するために創業から経営基盤の構築までの計画的な支援を通じて地域経済の活性化に貢献していく。</p>

2 事業概要	※ ( ) は活動目標値
<p>(1) 販路拡大支援事業 事業者の販路拡大機会の提供から売上増加に至るまでを伴走して支援した。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営発達支援計画に基づいた事業実施</li> <li>販路開拓や生産性向上を目的とした補助金申請支援</li> </ul> <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需要調査分析結果の活用〔再掲〕 : 実施</li> <li>商談会・展示会の積極的な活用〔再掲〕 : 実施</li> <li>「buyer's room」への出品支援〔再掲〕 : 0品</li> </ul> <p>(2) 起業しやすい環境整備事業 関係機関とのネットワークを強化し、実現可能性と事業継続性の高い創業を支援した。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営発達支援計画に基づく事業実施</li> <li>「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクトと連携した事業実施</li> </ul> <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創業計画段階からの伴走支援〔再掲〕 : 7社</li> <li>空き家・空き店舗情報の提供〔後掲〕 : 実施</li> <li>学生等若年者への起業意欲の醸成〔後掲〕 : 未実施</li> <li>創業実現企業の創出〔再掲〕 : 7社(3社)</li> </ul> <p>(3) 地域との連携推進事業 商工会ネットワークの強みを活かし県内商工会等との連携を強化し、商工会単独では解決困難な課題の解決の糸口を見出す。</p> <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男鹿潟上南秋河辺地区商工会(4商工会)との連携 : 2回</li> <li>県内商工会(21商工会)との連携 : 1回</li> </ul>	

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値(目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 販路拡大による売上金額 (総計)	54万円 (85万円)	340万円 (110万円)	150万円 (140万円)	200万円 (170万円)	(200万円)
達成状況	未達成	達成	達成	達成	
(2) 創業計画策定件数	4件 (2件)	9件 (2件)	4件 (2件)	7件 (3件)	(3件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	

4 施策目標に関する検証
<p>(1) 販路拡大による売上金額</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>販路拡大支援事業 県内商工会と連携した商談会出展に向けた出展前・後の専門家による支援を通じて、事前の心構えや商談先への適切なアプローチの実践法を習得することで成果を創出や取引先の開拓及び企業間連携による商品開発につなげることができた。 また、セミナー等を通じてDXやECサイトを活用した販路開拓支援を行い、新たな需要開拓についても支援することができた。</li> </ul> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>販路拡大支援事業 支援により創出された成果を地域内事業者には十分周知することができなかった。 新たに販路開拓に挑戦する事業者の育成をすることができなかった。</li> </ul> <p>(2) 創業計画策定件数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>起業しやすい環境整備事業 起業に関する各種支援策や金融制度を活用しながら、創業計画策定支援した全員が創業できた。</li> </ul> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>起業しやすい環境整備事業 起業後の継続的かつ計画的なフォローアップ支援体制を構築することができなかった。 学生等に対する明確な起業意欲の醸成を図る機会を創出することができなかった。</li> </ul>

5 次年度への改善点
<p>(1) 販路拡大挑戦企業支援事業 本年度事業による成果や機会、事業者同士の繋がりを今後の経営に確実に定着させるため、継続したフォロー支援を実施する。また、成果は地区内小規模事業者や地域に周知し、商品開発や販路開拓への意欲醸成につなげ、新たに販路拡大等に挑戦する企業の育成を促進させる。</p> <p>(2) 起業しやすい環境整備事業 当地域での起業メリットや起業支援に対するこれまでの成果を起業希望者に情報発信する。</p> <p>(3) 地域との連携の推進事業 商工会間連携を今まで以上に強化し、地域・産業間連携の拡大に継続的に取り組む。</p>

共通戦略2	新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進
-------	---------------------

施策4	地域の強みを活かした「秋田市農山村資源活用基本構想」の具現化
-----	--------------------------------

1 令和7年度 施策の方向性
<p>新型コロナウイルス感染症を機に、大都市の過密さは地方にとっての好機と捉え、テレワークやワーケーションの誘致により関係人口の拡大を目指す「秋田市農山村資源活用基本構想」において、河辺雄和地域を重点区域として進められていることから、商工会としてもその多様な連携体の一員として、地区内事業者への経済波及と地域経済の活性化に貢献する取組を通じて本構想の具現化に貢献する。</p>

2 事業概要	※ ( ) は活動目標値
<p>(1) 基本構想具現化関与事業</p> <p>基本構想が具現化し、地域に根付く(定着)までの取組に対し地元経済団体としての関与に努めた。</p> <p>■活動内容 ・「秋田市都市農村交流促進会議」への参画</p> <p>■達成状況 ・「秋田市都市農村交流促進会議」への参画 : 2回                  ・ゆうわ芸農の里づくり事業「雄和地域活性化検討会」への参画 : 5回                  ・親会や青年部・女性部等商工会の経営資源を活用した地域振興活動の企画 : 3回                  ・事業実施段階での物品調達、協賛催事等事業協力 : 未実施</p> <p>(2) 「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクト連携事業</p> <p>「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクトを通じて、地元のアーティストとの連携策をコーディネート(仲介)する等組織的な広がりへの展開に努めることで、地域経済活性化に貢献するよう取り組む。</p> <p>■活動内容 ・「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクトの推進</p> <p>■達成状況 ・地域振興専門委員会で関わり方の調査研究 : 未実施                  ・本事業と芸術家がwin-winとなる企画の立案・実施 : 2回</p>	

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値(目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 関係機関との連携数	1件 (1件)	6件 (1件)	7件 (3件)	12件 (3件)	(3件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	
(2) 新たなビジネスチャンス(新たな商材)の創出件数	1件 (0件)	3件 (1件)	3件 (1件)	3件 (2件)	(2件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	

4 施策目標に関する検証
<p>(1) 関係機関との連携数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <p>・基本構想具現化関与事業                  「秋田市都市農村交流促進会議」においては、民間事業者の取組が本格化しない中で市主催による農村の魅力発信や都市と農村の交流を促進する取組を中心に進められた。                  「ゆうわ芸農の里づくり事業」では、3回目となる集客イベントが開催されたほか、その際「made in yuwa」の作品展示会が併催されるなど本会の振興ビジョンとも整合する取組が実施された。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <p>・基本構想具現化関与事業                  岩見三内地区をエリアとして令和7年度から予定した整備計画について、一昨年の豪雨被害の復旧過程にあることに加えて、民間事業者の具体的な動きがないことも重なり、現段階では大きくトーンダウンしている実情にある。今後も委員会参画を継続し、今後の対応策について検討していきたい。</p> <p>(2) 新たなビジネスチャンス(新たな商材)の創出件数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <p>・「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクト連携                  秋田市の花「ダリア」の開花が最盛期の時期に、ダリア園を一望できるレストラン「Villa フローラ」を会場にアーティスト5人が共同展示会を開催した。                  その開催に併せて、当会では必要な資金調達手段として秋田市の補助制度の活用を提案したほか、企画から申請手続き、実績とりまとめに至る過程でワンストップ支援することができた。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <p>・「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクト連携                  プロジェクトの具現化のためにこれまでに制作等した各種ツール(ちょいなびかわべゆうわや同英訳WEB版、PR看板など)を活用したプロジェクトの見える化の取組を行うことができなかった。</p>

5 次年度への改善点
<p>(1) 基本構想具現化関与事業                  「秋田市都市農村交流促進会議」に参画し、地域の魅力創出のための積極的な意見提言に努める。</p> <p>(2) 「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクト連携                  これまでに制作した各種ツールの有効活用を図るため、外部発信や活用頻度の向上等により本プロジェクトの持続的な発展に努める。</p>

**共通戦略3** 成果を創出し続ける組織・運営体制の構築

**施策5** 会員の、会員による、会員のための商工会づくりの更なる推進

**1 令和7年度 施策の方向性**  
 会員主体の商工会活動の充実化を目指し、会員・役員・青年部女性部・事務局等がそれぞれの立場で主体的に商工会活動へ関与するよう促すほか、それらの活動で得られた成果を見やすい表現手法など工夫を凝らして発信することで商工会の魅力の“見える化”を図り、「ぜひ加入したい」と思ってもらえる商工会づくりを目指す。

**2 事業概要** ※（ ）は活動目標値

- (1) 会員加入促進強化事業**  
 「ぜひ加入したい」と思ってもらえることを目指し、商工会が提供する各種サービスの見える化をはじめとして役職員挙げた加入促進運動に取り組んだ。
- 活動内容
    - ・役員による主体的な加入促進運動のほか、職員に対しては人事評価上の目標設定値の標準指標として割り当て推進した。
    - ・地域の商工業者動態（開廃業の動向）を踏まえた加入促進を強化する。
  - 達成状況
    - ・会員増強運動の実施 : 19件 (21件以上)
    - ・農業関連事業者や芸術家等への会員加入促進 : 2件
    - ・商工会サービスメニュー（加入メリット）の見える化 : 3回
- (2) 商工会役員会機能強化事業**  
 自主的経済団体として、地域に根ざす経営者で構成する役員会の機能向上を目指した。
- 活動内容
    - ・会員企業や地域の活性化の観点からの「役員会」の活性化
  - 達成状況
    - ・役員会への出席率の向上 : 38.6%
    - ・役員会での役員からの提言数向上 : 11件 (15件)
    - ・適正な役員定数のあり方に関する検討 : 1回
- (3) 地域総合振興事業**  
 会員主体の商工会活動を目指し、主体的で創造的な部会活動等の組織運営に努めた。
- 達成状況
    - ・部会活動
      - ① 商業・サービス業部会 : 3回
      - ② 工業・建設業部会 : 1回
    - ・委員会活動
      - ① 地域振興専門委員会 : 未実施
      - ② 組織委員会、事業委員会、財政委員会 : 未実施
    - ・共催推進事業
      - ① 貯蓄共済新規獲得 : 38口 (72口)
      - ② 貯蓄共済新規加入者数 : 1件 (30件)
      - ③ 会員福祉共済新規獲得 : 2口 (30口)
    - ・会員交流事業
      - ① 新緑のつどい（通常総会の懇親会） : 1回
      - ② 移動商工会 : 2回
      - ③ 親睦ゴルフコンペ : 1回
      - ④ 新春のつどい : 1回
    - ・受託事業
      - ① 河辺雄和青色申告会 : 3回

施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 組織率 法定会員数÷地区内商工業者数	54% (55%)	54% (56%)	55% (57%)	54.7% (58%)	(59%)
達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	
(2) 役員会での役員からの提言数 (年計) 役員会議事録から役員の提言数をカウント	5回 (6回)	16回 (9回)	6回 (12回)	11回 (15回)	(18回)
達成状況	未達成	達成	未達成	未達成	

**4 施策目標に関する検証**

- (1) 組織率**
- 《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
- ・会員加入促進強化事業  
 農業法人の加入や創業支援を契機とした加入が一定程度あったほか、特別会員の増加傾向は変わらず続いている。  
 加入促進においては、役員からの紹介に加えて、会員からの紹介があるなど一定の成果があった。
- 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
- ・会員加入促進事業  
 特別会員が増加傾向にあることに関し、自主的経済団体として改善策を検討すべき時期に入ったと感じる。  
 既存の地区内商工業者の加入が芳しくない状況にある。
- (2) 役員会での役員からの提言数**
- 《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
- ・商工会役員会機能強化事業  
 新たな役員体制の二年目となり、役員からの意見・提言の量（回数）はまだまだ多いとは言えないものの、その質に関しては向上してきたと感じる。
- 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
- ・商工会役員会機能強化事業  
 役員会への出席率はまだまだ改善すべき課題といえる。  
 欠席役員の多くが欠席の理由に「業務の繁忙感」を挙げており、人手不足が役員企業にも影響していることを垣間見ることができる。

**5 次年度への改善点**

- (1) 会員加入促進事業**  
 支援施策のこまめな情報発信を強化するとともに、商工会加入メリットの見える化を図る。  
 （例：施策チラシの作成、支援事例の会報掲載、加入メリットの事例紹介等）
- (2) 商工会役員会機能強化事業**  
 質問や発言をしなくなる議事運営と事務局説明に一層の工夫を心がける。  
 組織・事業・財政の諸課題について、委員会等に付託し審議させる等、役員の自覚を育みながら役員会の議論活発化を誘導できるよう努める。

**共通戦略3 成果を創出し続ける組織・運営体制の構築**

**施策6 いかなる状況でも商工会運営に懸念を生じない強靱な財務体質の構築**

**1 令和7年度 施策の方向性**  
 商工会を取り巻く外部環境と内部環境の変化（県補助金の動向や商工会館の今後のあり方など）を見据え、収入の確保と経費の削減を両輪で推進する。  
 併せて、昨今の異常気象による緊急事態の発生を想定し、いかなる環境変化が生じても商工会運営を維持・継続できるよう、財政面の体質強化（強靱化）と事前の備え「BCP（事業継続計画）」の充実化を図り潜在する諸課題への対応力を強化する。

**2 事業概要** ※（ ）は活動目標値

**(1) 収益事業の推進強化事業（自主財源充実化事業）**  
 既存の収益事業の一層の推進強化を通じて、自己財源の充実に努めた。  
 また、新規収益事業の企画開発を含む手数料賦課基準の見直し等を行い、自主財源の更なる充実強化に努める必要がある。

- **活動内容**
  - ・貯蓄共済を中心とした各種共済制度の加入推進
  - ・既存の手数料規定の見直しによる受益者負担の適正化
- **達成状況**
  - ・貯蓄共済の推進 : 1,052 口 (1,132 口)  
 新規獲得 38 口 (72 口)  
 新規加入 1 件 (30 件)
  - ・福祉共済等商工会共済の推進 : 2 口 (新規獲得 30 口)
  - ・国や県火災共済等の収益事業の推進
  - ・独自の収益事業の運用改善・適正化による収入確保 : 未実施 (2 件)
  - ・商工会のサービスマニューの再周知 : 4 回  
 無料ホームページ「Goope」、会計ソフト「商工会クラウド・MA1」、チラシ同封サービス、各種共済制度、各種補助金制度など

**(2) 財務体質強化対策事業**  
 コスト削減に一層努力しつつ、将来的な安定化に資する引当金の積み増しを確実にこなせる財務体質を構築し、将来の危機管理に万全を期した。

- **活動内容**
  - ・経費の削減とともに引当金の積み増しによる財政の安定化
- **達成状況**
  - ・経費の削減 : 昨対比 92.8%  
 (管理費 1%削減)
  - ・繰入引当金の積み増し : 1,500 千円 (1,500 千円)
  - ・本所会館の今後のあり方検討 : 秋田市への要望活動継続中
  - ・商工会BCP（事業継続計画）の充実化 : 1 回

施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(1) 自己財源比率</b> 自己財源比率＝(会費＋手数料)÷経常収入 ※経常収入の内、臨時的なものは除く。	31.72% (35%)	33.6% (35.5%)	32.7% (36.0%)	33.7% (36.5%)	(37.0%)
達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	
<b>(2) 繰入引当残高(役員退任慰労金除く)</b> 5年後の繰入引当金額 10,000 千円を目指す。	50.6% (40%)	45.6% (55%)	60.6% (70%)	75.6% (85%)	(100%) 10,000 千円
達成状況	達成	未達成	未達成	未達成	

**4 施策目標に関する検証**

- (1) 自己財源比率**
- 《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
- ・収益事業の推進強化事業（自主財源充実化事業）  
 新人職員1名、育休職員1名、転入支援員1名の環境の中で、全員体制で記帳機械化対象者全員に対して漏れなく支援することができた。
- 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
- ・収益事業の推進強化事業（自主財源充実化事業）  
 過去の懈怠により記帳機械化対象者からの消費税手数料の徴求漏れが判明した。  
 貯蓄共済を目標達成することができなかった。  
 貯蓄共済を通年で加入促進しようとする体制が定着していない。
- (2) 繰入引当残高(役員退任慰労金除く)**
- 《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
- ・財務体質強化対策事業  
 月次の収支状況を的確に把握することで、円滑な資金繰りの下で計画的な繰入引当等が行えるよう財政運営に心がけた。  
 補助事業へ積極的にエントリーすることで、少ない自己負担で魅力ある事業企画に努めた。
- 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
- ・財務体質強化対策事業  
 管理費の削減にいま以上に注力する必要がある。  
 具体には、コピー使用、電灯の消灯、電話の削減等。

**5 次年度への改善点**

- (1) 収益事業の推進強化事業（自主財源充実化事業）**  
 日常的な加入促進環境を構築する必要がある。そのためにも、進捗状況に対するPDCAを的確に廻すとともに、通年で日常的な口数維持への意識を全員が持つよう意識醸成を図る。  
 記帳機械化対象事業所の更なる増加に向けて、充実した個社支援を通じて対象者を掘り起こす。
- (2) 財務体質強化対策事業**  
 コスト削減を意識した行動変革…コピー使用料低減のための補助事業の活用、公用車の使用徹底、就業時間内のムダな過ごし方の削減、定時帰社の徹底等。

独自戦略1 「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクトの理念の実現

施策7 アートの魅力を活用した交流人口の拡大への取組

**1 令和7年度 施策の方向性**  
 「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクトでのこれまで成果を踏まえ、地域で創作活動をしている方々の作品の認知度向上を支援するため、芸術の里魅力発信事業をはじめとする本プロジェクトの更なる深化に取り組み、交流人口の拡大を通じて地域経済の活性化に貢献する。

**2 事業概要** ※ ( ) は活動目標値

**(1) アートの魅力発信事業 (情報発信)**  
 芸術の里かわべゆうわのイメージ定着を目指し、アナログとデジタルを効果的に活用し地域の特色を活かした多様な情報発信を行った。

- 活動内容 ・多様な媒体を活用した「芸術の里かわべゆうわ」の魅力発信とイメージ浸透活動
- 達成状況 ・持ち歩ける情報誌「ちょいなびかわべゆうわ」 : 随時  
 を活用した地域の魅力発信  
 ・「ちょいなびかわべゆうわ」英訳 web 版の周知  
<http://kawabe-yuwa.com/art/guidebook.html>  
 ・SNS (Facebook) 等を活用した魅力発信 : 9回 (10回)  
 ・ホームページ「芸術の里かわべゆうわ」による情報発信 : 2回 (5回)  
 ・「情報発信力強化」商工会全般の情報発信 : 89回 (100件)  
 ・消費者と芸術家をつなぐ「交流サイト」の構築に向けた研究

**(2) アトリエ等の観光資源化環境整備事業**  
 点在するアトリエ (工房) を地域の観光資源として位置付け、芸術家の認知度向上と交流人口の拡大を目指した環境整備を行った。

- 活動内容 ・芸術家とのコミュニケーションを大切にした観光資源としての魅力向上活動
- 達成状況 ・芸術家との「意見交換会」の開催 : 2回  
 (既存事業者コラボ数1回)  
 ・「アンテナ店舗」獲得、「作品展示会」企画等 : 8カ所 (8カ所)  
 ・「クラフトエリア」の活用や汎用性拡大事業の実施 : 1回  
 (PR看板を活用した認知度向上事業)

**3 施策目標及び達成状況**

施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(1) アンテナ店舗数</b> <small>芸術家の作品を店内等で展示協力するなど                      知名度向上に協力する店舗 (商工業者) の数</small>	2カ所 (2カ所)	3カ所 (4カ所)	5カ所 (6カ所)	8カ所 (8カ所)	(10カ所)
達成状況	達成	未達成	未達成	達成	
<b>(2) 芸術家と既存事業者とのコラボレーション数</b> <small>芸術作品を店舗で什器等営業利用する件数</small>	0回 (1回)	1回 (1回)	1回 (1回)	1回 (1回)	(2回)
達成状況	未達成	達成	達成	達成	

**4 施策目標に関する検証**

**(1) アンテナ店舗数**

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか

- ・アトリエ等の観光資源化環境整備事業  
 昨年度、JR 東日本秋田支社との商談支援を実施。当初、期間限定販売として展開した「秋田犬の和紙人形」の人気が出たため、常設商品化へと繋げることができた。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか

- ・アートの魅力発信事業 (情報発信)  
 個展や展覧会など各アーティストの活動情報を発信することができなかった。  
 アンテナショップを増やすための情報発信ができなかった。

**(2) 芸術家と既存事業者とのコラボレーション数**

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか

- ・アトリエ等の観光資源化環境整備事業  
 当地域の芸術家を中心となって開催した共同展示即売会の運営を側面支援した。  
 県内だけでなく東北6県や首都圏向けにDMを送付することで、県外からの集客が叶った。  
 AIU 生とコラボしたマスキングテープの配布効果もあり、売上は前年比 150%増となった。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか

- ・アートの魅力発信事業 (情報発信)  
 昨年はテレビ局からの取材があるなど初めての取り組みへの注目度が高かったが、今年度は注目度を高める工夫が不足していた。

**5 次年度への改善点**

**(1) アートの魅力発信事業 (情報発信)**  
 HP だけでなく Instagram を活用した身近な話題の情報発信に努める。  
 独自戦略で作成した「ちょいなびかわべゆうわ」の英訳 Web 版の活用推進を図る。

**(2) アトリエ等の観光資源化環境整備事業**  
 個社支援を強化することで芸術家の販路拡大支援を目指しつつ、アンテナ店舗の獲得を目指す。

独自戦略1 「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクトの理念の実現

施策8 芸術家や事業者などの誘致を目指す移住促進

**1 令和7年度 施策の方向性**  
 「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクトのこれまでの成果を踏まえ、河辺雄和でアトリエの開設や起業を志す潜在的な商工業者を誘致できるよう、空き家・空き店舗情報のデータベース化に取り組むとともに、関係機関と連携した情報提供を通じて芸術家の移住や事業者の誘致につなげる。  
 特に、創業を希望する秋田公立美術大生や国際教養大生への伴走支援を行う。

**2 事業概要** ※ ( ) は活動目標値

**(1) 空き家等の発掘の仕組み化及びデータベース最適化事業**  
 巡回や関係機関との連携強化により空き家等の情報収集を仕組み化するほか、情報のデータベース化、外部発信に至る工程を業務フローとして確立する。

- 活動内容 ・ 空き家情報等の収集とデータベースの充実化への取り組み
- 達成状況 ・ 空き家・空き店舗情報の収集の仕組み化 : 0カ所 (新規登録1カ所以上)  
 ・ 空き家等の情報のデータベースの最適化 : 未実施

**(2) 空き家等情報の発信事業**  
 空き家等情報をアナログとデジタルの効果的な活用により発信した。

- 活動内容 ・ 多様な媒体を活用した空き家情報の発信
- 達成状況 ・ HP「芸術の里かわべゆうわ」による情報発信 : 2回  
 ・ SNS (Facebook) 等を活用した日常的な情報発信 : 9回  
 ・ 広報紙「河辺雄和商工会報」での情報発信 : 2回

**(3) 大学生への創業啓発支援事業**  
 学生に対する創業意識の啓発を行い、起業に興味のある者に対し伴走して支援した。

- 活動内容 ・ 学生に対する創業意識を啓発し、起業に興味のある者に対し伴走して支援した。
- 達成状況 ・ 空き家等を活用した制作発表の場の提供 : 1回  
 ・ 先輩芸術家から創業体験を聞く場の設定 : 1回  
 ・ 大学生の創業啓発支援に関する研究 (新規) : 1回

施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 空き家・空き店舗の新規登録数	0カ所 (1カ所以上)	1カ所 (1カ所以上)	0カ所 (1カ所以上)	0カ所 (1カ所以上)	(1カ所以上)
達成状況	未達成	達成	未達成	未達成	
(2) 地域外からの移住者数	3事業者 (1事業者)	0事業者 (0事業者)	2事業者 (1事業者)	2事業者 (0事業者)	(1事業者)
達成状況	達成	達成	達成	達成	

**4 施策目標に関する検証**

**(1) 空き家・空き店舗の新規登録数**

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  
 ・ 空き家等情報の発信事業  
 継続的に商工会 HP で空き家等の情報を掲載することで、会員事業者から問い合わせが増えている。  
 NPO 住まい安心サポート秋田と連携することで、域外からの移住や事業所の移転への相談対応のための環境を整えることができた。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  
 ・ 空き家等情報の発信事業  
 空き家等を探している方は、購入ではなく賃貸を希望していることが多いが、手持ちの空き家情報は販売物件が多く賃貸物件が少ないことから、不動産会社との連携が必要になってくる。

**(2) 地域外からの移住者数**

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  
 ・ 大学生への創業啓発支援事業  
 秋田市の消費拡大事業を活用して、Made in Yuwa と AIU 生が連携しマスクングテープと一緒に作成する活動を通じて、物を作る楽しみや物が売れる嬉しさなど商売に興味関心を持っていただけた。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  
 ・ 空き家等情報の発信事業  
 秋田市の補助金活用や伴走支援体制など事業所移転をしやすい環境が整っていると思われるが、商工会からの情報発信が少なかったために案件発掘が十分にできなかった。

**5 次年度への改善点**

- (1) 空き家・空き店舗の新規登録数  
 空き家情報の問い合わせがあった時だけが「NPO 住まい安心サポート秋田」との情報交換の機会となっているため、いま以上に積極的なコミュニケーションで関係深化を図っていきたい。
- (2) 空き家等情報の発信事業  
 会報記事などを活用し、商工会で空き家空き店舗情報を集めていることを周知する。
- (3) 大学生への創業啓発支援事業  
 地域おこし協力隊やマルチワークの活用に向けて行政等と連携し、調査・研究をする。

独自戦略2 地域の基幹産業を担う農業関連事業者への充実した支援（農商工連携）

施策9 農業関連事業者の持続的発展を促すための新たな組織づくりの促進

1 令和7年度 施策の方向性

地域内において大規模な圃場整備事業が進行している中、商工業者となり得る「農業法人」が設立されているなど“稼げる農業経営”に向けた動きが活発化していることから、基幹産業である農業関連事業者が抱える課題を共有し、共に解決策を見出す場を提供する。  
その結果として、産出物の高付加価値化と雇用拡大を含む商工業者への育成支援を強化する。

2 事業概要 ※（ ）は活動目標値

(1) 農商工連携課題研究事業  
農業関連事業者が一堂に会し、自社の抱える課題の解決や相互連携の手法等を模索できるよう、情報交流を通じて検討できる場を設定した。

- 活動内容
  - ・農業関連事業者が一堂に会する場や機会の設定
  - ・先進地視察研修の実施（大潟村、7月）

■達成状況 ・「農業関連事業者懇談会」の開催 : 1回（2回）

(2) 農業関連事業者育成事業  
1次産品生産者の“稼げる企業”への育成支援を通じて、地域商工業者の創出を促進する。

- 活動内容
  - ・役職員連携による加入促進と各種施策の提案実行支援

■達成状況
 

- ・企業間連携事例の紹介など商工会の活用方法を提案 : 1回（1回）
- ・戦略提案から計画策定支援、実行支援への一連した支援の実施 [融資等] : 1回
- ・農業関連事業者の商工会加入の促進 : 25件（累計24件）

3 施策目標及び達成状況

施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 農業関連事業者による懇談会等開催時のテーマ数	1回 (1回)	1回 (1回)	1回 (2回)	1回 (2回)	(2回)
達成状況	達成	達成	未達成	未達成	
(2) 農業関連事業の商工業者数 (累計数)	21件 (21件)	23件 (22件)	25件 (23件)	25件 (24件)	(25件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	

4 施策目標に関する検証

(1) 農業関連事業者による懇談会等開催時のテーマ数

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  
 ・農商工連携課題研究事業  
 6次産業化の先進的に取り組む企業の視察を通して刺激を受け、一定程度の意識の醸成が図られた。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  
 ・農商工連携課題研究事業  
 栽培する作物によって繁忙期が異なるため、農業関連事業者懇談会の複数回開催ができなかった。

(2) 農業関連事業の商工業者数

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  
 ・農業関連事業者育成事業  
 新規加入には至らなかったものの、これまでの農業関連事業者に対する相談対応について一定の評価を得ることができた結果、既存会員からの紹介で新規会員となり得る事業者に商工会施策を提案することが出来た。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  
 ・農業関連事業者育成事業  
 米価の変動に影響を受け、収入・収益が大幅に増加した農業関連事業者が多数おり、記帳等の基礎的経営能力の指導が不足していた。

5 次年度への改善点

(1) 農商工連携課題研究事業  
6次産業化等、産出物の高付加価値化につながる取組に挑戦する際の課題や不安となる事項について解決のヒントとなるような研修事業を再検討する必要がある。

(2) 農業関連事業者育成事業  
農業関連事業者の基礎的経営（記帳、労務など）についての支援の充実化を図る必要がある。巡回等による施策情報の発信のみならず、商工会等が取り扱う各種支援策についても提案することで商工業者としての事業者の確実な育成につなげることが必要である。

**独自戦略2** 地域の基幹産業を担う農業関連事業者への充実した支援（農商工連携）

**施策10** 1次産業（農業者等）と既存事業者とのマッチング支援によるビジネスチャンス拡大

**1 令和6年度 施策の方向性**

多種多様な一次産品を生産加工販売する農業関連事業者と既存事業者との新たな産業間連携（農商工連携）を、商工会ならでのコーディネート機能により促進する。  
農商工連携による新商品開発や既存商品のリブランディングを行い、域内外へのビジネスチャンスの拡大を通じて基幹産業を担う農業関連事業者の持続的経営を支援する。

**2 事業概要** ※（ ）は活動目標値

**(1) 農商工連携等意識醸成促進事業**

農商工連携に向けた事例調査等を通じて、必要な支援策を明確化し、具体的に農商工連携を伴走支援することができるよう、関係者の意識醸成を図り、そのための環境整備を行う。

- 活動内容 ・ 農商工連携支援に向けた事例収集や情報提供
- 達成状況 ・ 各種商談会への参加、若しくは見学視察の推奨 : 1回 (1回)
- ・ 商工会のネットワークを活用した事例収集、情報提供 : 1回
- ・ 産業間連携の機会創出 : 1回 (1回)

**(2) 農商工連携等計画策定及び実行支援事業**

農商工連携計画の提案から計画策定のみならず、実行支援からその後のフォロー支援まで一貫して伴走支援する。  
特に、今後の戦略提案から計画策定支援、そして実行支援（商談会展出や他者との連携等）、さらにはその後のフォロー支援まで、これら一連の過程において親身に寄り添った支援案件を輩出する。

- 活動内容 ・ 事業計画の策定から実行支援、フォロー支援に至る一貫した伴走支援
- 達成状況 ・ 農業関連事業者への経営革新（新たな取組）提案 : 2件 (4件)
- ・ 戦略提案から計画策定、実行支援、フォロー支援 : 1社 (2社) までの一環支援の実施
- ・ 「農商工連携支援」農商工連携計画策定 : 1件
- ・ 新商品開発のための関係機関との連携 : 0件

**3 施策目標及び達成状況**

施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 農業関連事業者への積極的な提案件数	3件 (3件)	6件 (3件)	4件 (4件)	2件 (4件)	(6件)
達成状況	達成	達成	達成	未達成	
(2) 農業関連事業者との新たな連携事業の創出数	2件 (1件)	4件 (1件)	1件 (2件)	2件 (2件)	(3件)
達成状況	達成	達成	未達成	達成	

**4 施策目標に関する検証**

**(1) 農業関連事業者への積極的な提案件数**

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  
 ・ 農商工連携等意識醸成促進事業  
 大型商談会への連携出展を契機に産業間並びに広域的な連携を図った事業者をモデル例に、その他の連携が誘発された。  
 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  
 ・ 農商工連携等意識醸成促進事業  
 一定数の企業に対しての効果を創出することができたものの、地域全体を巻き込んだ事業展開にまで至ることができなかった。

**(2) 農業関連事業者との新たな連携事業の創出数**

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  
 ・ 農商工連携等計画策定及び実行支援事業  
 商工会間の広域連携による大型商談会への出展を機に、2件の産業間連携を創出することが出来た。  
 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  
 ・ 農商工連携等計画策定及び実行支援事業  
 新商品開発の際に、関係機関との連携を図ることが出来なかった。

**5 次年度への改善点**

**(1) 農商工連携等意識醸成促進事業**  
 これまでの取組で創出された連携モデル例を様々な媒体を通して広く周知し、新たに農商工連携等に挑戦する事業者の輩出に取り組んでいく。

**(2) 農商工連携等計画策定及び実行支援事業**  
 計画実行支援の場面において、有効な支援を実施できるよう農業関係等の幅広い関係機関との連携を強化する必要がある。